



# AP事業の組織間連携と評価・改善サイクル

## 1. AP事業内容

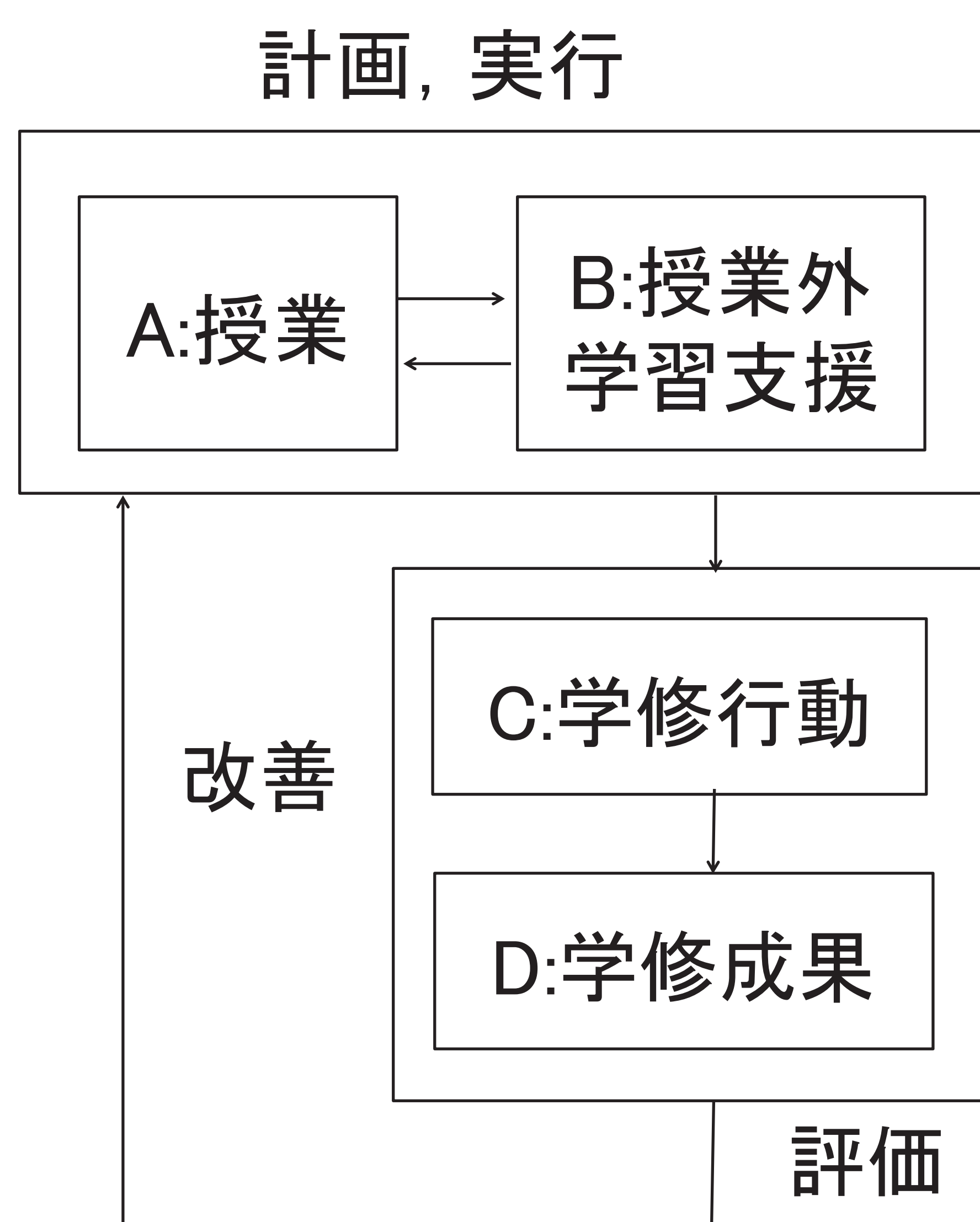


図1.4領域によるPDCA体制

### 領域A(全学共通の初年次必修科目の教育改革)

- ①多様なアクティブラーニング手法で教育改革  
ークリッカー、ペアワーク、ワークシート作成など
- ②授業外学習時間を増やすための課題設定  
ーレポート課題、情報活用課題、チャレンジ課題

### 領域B(授業課題等の学修支援や主体的学習の促進)

- ①学習ステーションで教職員、ピアサポーターが学習支援  
ー授業の内容や課題と授業外支援の連携
- ②ピアサポーターによる学習企画  
ー後輩学生の主体的学びの促進

### 領域C(学修態度・行動の調査とFD・個別指導の活用)

- ①アクティブラーナー水準の質問紙調査の開発  
ー全学的に調査し結果を個別学生にフィードバック
- ②学修行動調査  
ー学修の場所、内容、時間、効果の調査とFD活用

### 領域D(学修成果の可視化とFD・個別指導の活用)

- ①ルーブリックによる学修成果の評価とフィードバック  
ーレポート、プレゼン、卒業研究、ディプロマなど
- ②学外テストの結果の分析とフィードバック  
ーRST(リーディングスキルテスト)、PROGなど

## 2. 6年間の成果

- ・初年次必修科目のアクティブラーニング化による学習習慣の形成、基礎学力の養成
- ・領域AからDの推進を通じてPDCAのサイクルの全学的な共通認識、実践
- ・個別学生の学修成果の可視化とフィードバック、学修支援の全学的な共通認識、実践
- ・学科間、部署間の連携、教職協働の強化
- ・平成26年度から30年度の5年間、毎年度の成果報告会と年次報告書の作成、配布
- ・AP事業実践の学会発表・紀要など計20件の発表
- ・AP最終年度:最終報告書、研究報告書、ピアサポーター報告書の3つを作成、配布予定

## 3. AP後の計画

### 領域A:授業改革

QFT、ロイロノート促進

### 領域B:授業外学習支援

学習支援の質的向上

### 領域C:学修行動

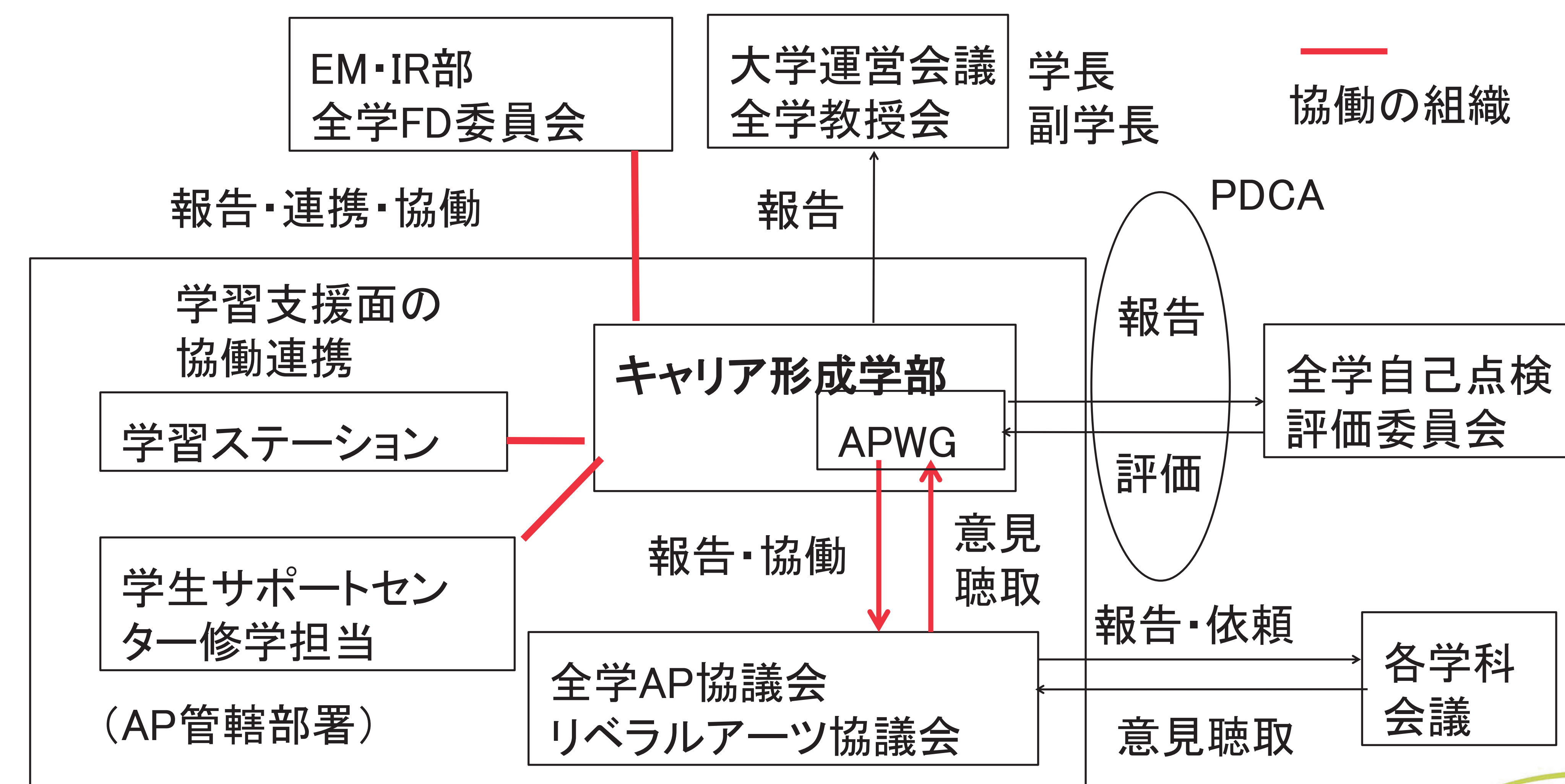
アセスメントの体系化

PDCAの強化

### 領域D:学修成果

ディプロマ・サプリ

メントの作成、発行



アクティブラーナー育成の学習環境構築と成果検証

図2. AP事業の推進体制

